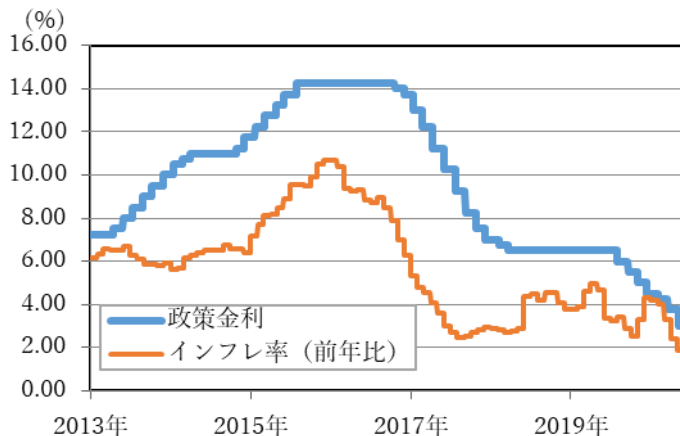


## ブラジルの政策金利の引き下げについて

2020年6月17日（現地時間）、ブラジル中央銀行は、COPOM（金融政策委員会）において、Selic（政策金利）を0.75%引き下げ、年率2.25%とすることを決定しました。

ブラジル中央銀行は市場の予想通り8会合連続で利下げを実施し、過去最低の2.25%とすることを決定しました。新型コロナウイルスの感染拡大で国内の需要が縮小するとともに、今年と来年のインフレ期待が低下しています。声明では、既実施した金融刺激策の規模は新型コロナウイルスの感染拡大による経済への影響に対応しているとした上で、今後数カ月に追加緩和を実施する可能性を示唆し、追加利下げに含みを残しました。世界経済見通しについては「新型コロナウイルスの感染拡大が世界の経済成長に著しい鈍化を招き、新興国においても厳しい状況が続いている。」としました。

ブラジルの政策金利とインフレ率の推移  
（2013年1月1日～2020年6月17日）



\* 政策金利: Selic を使用。

\* 出所: ブラジル中央銀行、ブルームバーグのデータよりBNPパリバ・アセットマネジメント株式会社作成

ブラジルの政策金利と変化幅

日付	政策金利 (%)	変化幅 (%)
2019年12月11日	4.50	-0.50
2020年2月5日	4.25	-0.25
2020年3月18日	3.75	-0.50
2020年5月6日	3.00	-0.75
2020年6月17日	2.25	-0.75

### 本資料のお取り扱いにおけるご注意

- 本資料はBNPパリバ・アセットマネジメント株式会社が上記の時点に作成したものです。特定の金融商品の取得勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。
- 本資料中の情報は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。